

2020年3月26日

**JXTGHDが油価下落で最終赤字に——石油製品の利幅を注視**

JXTG ホールディングス（証券コード：5020、発行体格付＝A+、JXTGHD）は26日、2020年3月期の業績予想を1550億円の最終黒字から3000億円の最終赤字に修正した。資源価格の急落によりエネルギー事業の在庫評価が2500億円のマイナスとなったことに加え、石油・天然ガス開発事業の減損損失の計上も響いた。

主力のエネルギー事業では業界再編の効果が浸透して石油製品の利幅はかつてに比べ切り上がった。元売り各社の信用力の大きな支えとなっており、その効果が薄れたとはみていない。JXTGHDは利幅の改善を背景に好業績が続き、2019年12月末の自己資本は約2.7兆円に上る。今回の業績予想の修正は会計上の評価損が主体で、キャッシュフローへの影響は限られる。現時点で格付を変える必要はないと考えている。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い経済活動が停滞すれば、石油製品の販売への影響は大きくなる。低水準の資源価格が長期化すると、石油・天然ガス、銅など資源開発事業の収益力が低迷し、財務基盤のもう一段の悪化に結び付きかねない。今後の石油製品の利幅や資源価格の動向、それによる収支・財務への影響を注視していく。

主任格付アナリスト：守屋 敦

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。